



Artist: 徳原 望 Title: 日本の世界遺産たちへの旅

# ARTPARA FUKAGAWA 2026

## アートパラ深川大賞2026・応募要項

## 2026年アートパラ深川大賞 応募要項

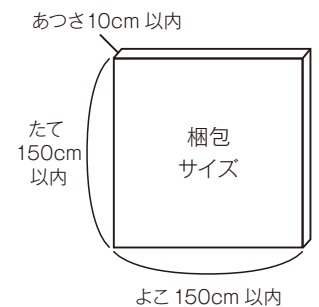
アートパラ深川おしゃべりな芸術祭は、2020年に江東区深川エリアを中心とした地域住民が立ち上げた市民芸術祭です。障がいのある人が生み出すアートの魅力を伝えると共に、人々がつながり、おしゃべりしながらお互いを理解し、「共に生きる」社会を目指しています。

芸術祭は毎年秋に実施しており、全国公募展と「AMF(アートパラ マーケット フェア)」(入賞アーティストのグループ展)を交互に開催しています。

今年は全国公募展「アートパラ深川大賞」の開催年となります。

入選入賞数も約200作品に増やし、入賞数も約50作品と全国でも最大規模の展覧会を開催します。どうぞ、ふるってご応募ください。

- [ 応募資格 ] 社会生活において何らかの障がいのある方  
(年齢制限なし、障がい者手帳の有無は問いません。)
- [ 受付期間 ] 2026年3月～2026年5月10日当日消印有効
- [ 応募点数 ] 1人1作品(グループでの応募可、その場合は1グループ1作品)
- [ 応募テーマ ] 自由(お好きなテーマでご応募ください)
- [ 出品規格 ] 作品サイズ:縦横それぞれ150cm以下(額装を含む梱包時のサイズ)  
厚さ10cm以内(“壁にかけて”展示できる作品)
- [ 応募料金 ] 無料: 応募書類や入選作品の送料は応募者負担です。  
ただし返却費用は主催者で負担します。(日本国内のみ)
- [ 審査方法 ] 1次審査: 画像データまたは写真による審査(入選点数200作品程度)  
2次審査: 入選作品約200点の実物作品による審査(入賞点数50作品程度)  
(1次審査通過者へは、6月中旬に別途発送方法等連絡いたします)
- [ 応募方法 ] アートパラ深川おしゃべりな芸術祭公式ホームページ内の【応募要項】の中にある【応募フォーム】に必要事項を記載し、作品画像データ・2点(作品全体写真、作品のアップの写真)を添付の上、ご応募ください。  
<http://www.artpara-fukagawa.tokyo>  
★ フォームでの対応が難しい場合は郵送も可能です。  
(詳しくは事務局までお問い合わせください)
- [ 注意事項 ] ◎応募作品は、応募者によるオリジナル作品で、過去に受賞歴のないものに限りません。  
また、他の賞に応募中のものは対象外です。  
◎著作権、商標権、肖像権、その他の権利を侵害しないものに限りません。  
※アート雇用の方は契約企業、施設で制作されている方は所属施設に、必ず確認をとってください。  
◎危険・有害の恐れのある作品、鋭い突起など、腐敗やにおいが出るもの、乾燥していない植物等を使用した作品の応募はご遠慮ください。  
危険・有害の恐れがあると判断した場合は返却いたします。



- [ 承諾事項 ] 【入選作品保管・返却】 審査を経て送付された入賞・入選作品は、返送するまでの期間、主催者の管理下で一時保存しますが、不慮の損害（破損・汚損等）についてはいかなる場合も責任を問わないものとします。
- ◎損害保険には加入済みです。
- ◎返却時には応募時の梱包を再利用しますので、作品の保護には十分配慮し、梱包、発送をお願いいたします。
- ◎管理のために梱包材や作品の裏にシールにて管理番号を貼付することがあります。
- [ 特別審査員(予定) ] 假屋崎省吾(華道家)、いとうせいこう(編集者、小説家)、杉本志乃(アートコンサルタント)、中津川浩章(アーティスト)
- [ 賞 ] 入賞：大賞1点、準大賞1点、審査員特別賞5点  
協賛企業賞30~40作品程度、実行委員会賞等
- [ 芸術活動支援金 ] 大賞1点(50万円)、準大賞1点(30万円)、審査員特別賞5点(各5万円)
- [ 授賞式 ] 2026年10月17日(土) 東京都江東区・森下文化センター(詳細別途案内)
- [ 作品展示 ] 入選作品(1次審査通過作品)及び入賞作品(2次審査通過作品)は、深川不動堂・ロータスホール、深川江戸資料館・レクホール、清澄庭園内・大正記念館の3箇所に展示します。展示期間：2026年10月17日(土)~10月25日(日)(すべて入場無料)
- [ 入選入賞特典 ] ◎作品のポストカードを制作、50枚贈呈  
◎入選入賞カタログ贈呈  
◎次年度から「街なかアート」(レプリカ作品)として江東区内を中心に展示。
- [ 入賞特典 ] 入賞アーティスト(2次審査通過者)は、2027年の「AMF(アートパラ・マーケット・フェア)」(グループ展)にて販売が可能です。
- [ 二次利用 ] ◎大賞作品は2027年のメインビジュアル、準大賞作品は2028年のメインビジュアルとして各種広報に使用させていただきます。  
◎その他、協賛企業・地域などからのご要望によるレンタルや販売、グッズ制作等のオファーがある場合があります。(いずれも事前にアーティストに連絡・相談させていただきます)  
◎次年度から「街なかアート」として活用させていただきます。
- [ 次回の募集 ] 2028年3~5月頃を予定しています。
- [ 作品の著作権 ] 入選・入賞作品は、新聞、雑誌、テレビ、ホームページ、アートパラマガジンなどの芸術祭の広報活動、本公募展に関する報告資料・記録資料、「街なかアート」としての展示、次回の芸術祭に向けたビジュアルとして無償で利用させていただく場合があります。また、利用に際して、入選・入賞作品の内容・表現・題号の変更、著作物の部分使用、入選・入賞者の氏名表示省略等を行う場合があります。※著しい改変や変更を行う場合には、事前にアーティストに連絡します。
- [ 個人情報の取扱い ] 応募時にご登録いただいた個人情報に関しては、入選・入賞の連絡、及び作品の返却と個人を特定しない統計として利用させていただき、ご本人または代理の方の同意なしに業務委託先以外の第三者には開示しません。
- [ 主催 ] アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会、一般社団法人アートパラ深川

# 応募用紙

表面と裏面がありますので、  
両面をご覧になり、記入と写真添付をお願いします。

記入日 2026 年 月 日

氏名	ふりがな		年齢
	ふりがな		( 歳 )
※氏名とは別に 表示したい 作家名がある場合	ふりがな		
所属	会社名/施設名/アトリエ名/学校名など		
連絡先	住所 〒 ー 自宅以外の方は、会社名/施設名/アトリエ名/学校名をご記入ください。 マンションなどの場合は建物名・部屋番号までご記入ください。		
	都・道 府・県		
	電話番号 FAX 番号		
	メールアドレス		
作品題名	ふりがな		
作品について	<input type="checkbox"/> 原画 <input type="checkbox"/> 版画 <input type="checkbox"/> デジタル	画材	制作年
	項目にチェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください		
原画の大きさ	たて ( ) cm × よこ ( ) cm 梱包サイズは、応募要項にある出品規格の範囲内にしてください。		
コメント	作品の説明、作品が生まれた背景や、制作にあたってのアーティストの想いやエピソードなどのご記入をお願いします。		
	_____		
	_____		
	_____		
	_____		
	_____		
※展示会・ウェブサイト等での開示したくない 項目にチェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> コメント <input type="checkbox"/> 居住都道府県			

# 応募写真台紙

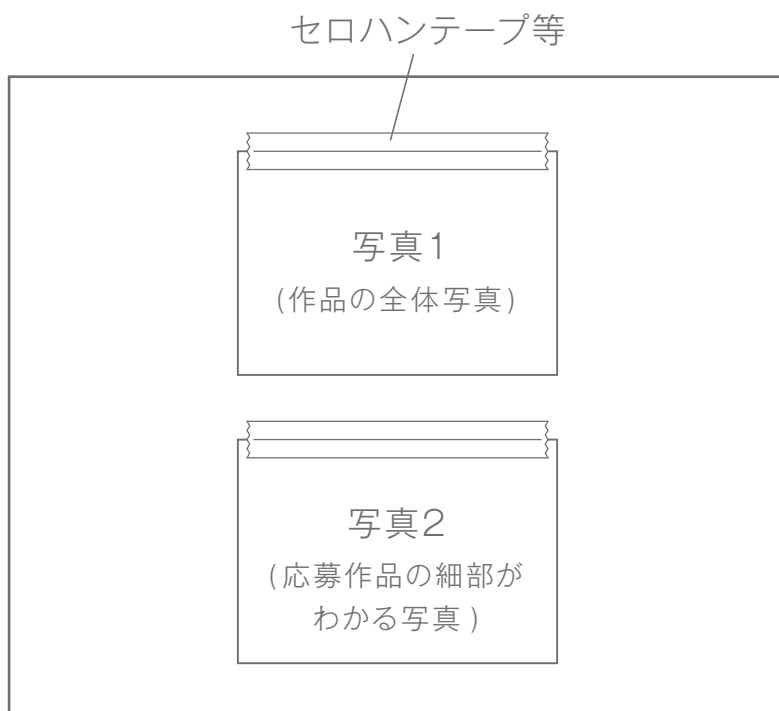
表面と裏面がありますので、  
両面をご覧になり、記入と写真添付をお願いします。

※写真はこの点線の枠内に貼り付けてください

## 【写真の枚数と貼付の方法】

※この説明の上に写真を貼ってください

- [平面作品] 1点につき2枚(全体が把握できる写真1枚と細部を写した写真1枚)
- 写真のサイズはL版(89mm×27mm)もしくはハガキ大のサイズにしてください
- 写真の裏に「氏名」「作品名」を明記してください
- セロハンテープ等の透明テープで「写真の上辺のみ」をしっかりと台紙に貼り付けてください
- 応募用紙、応募写真台紙を同封の上、お送りください



全体写真の上に細部写真を下に貼り付けて、合計2枚貼り付ける。

# 作品応募から芸術祭までの流れ

	1次審査			2次審査	イベント
	募集期間	結果連絡	作品送付		
2026年 3月	 <p>3月～5月10日(当日消印有効) ウェブサイトの応募フォームから作品情報と画像を送信、または応募用紙と作品の写真を郵送してください。</p>				
4月					
5月					
6月		 <p>6月上旬に1次審査結果(入選連絡)をメールまたは郵送で通知します。</p>			
7月			 <p>入選者はアートバラ深川が指定する日付(7月上旬予定)に必着するよう作品を送付してください。</p>		
8月				 <p>7月下旬に入選作品から入賞作品を選ぶ2次審査を行います。 入賞者への連絡は8月上旬頃の予定です。</p>	
9月					<div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;">豊洲エリア開催</div> <div style="text-align: center; padding: 5px;">9月5日(土)～13日(日)</div>
10月					<div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;">深川エリア開催</div> <div style="text-align: center; padding: 5px;">                     10月17日(土)～25日(日)                      ※入賞・入選作品の原画を期間中に展示                      授賞式：10月17日(土)                      [芸術祭初日]                      場所：東京都江東区森下文化センター                 </div>
11月					
12月					
2027年 1月					

※入選・入賞作品の取り扱い、著作権、個人情報等の取り扱いについては応募要項をご覧ください。



假屋崎省吾

Shogo Kariyazaki  
華道家

東京・銀座「假屋崎省吾 花教室」主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎだす手を持つ人」と評され、日本初の「華道家」として世界各地で「いけばな」を広める活動にも精励する。クリントン大統領来日時、明仁天皇御在位10年記念式典、明仁天皇御退位・徳仁天皇御即位スタジオ装花、花博覧会のプロデュースなどを手掛け、女子美術大学客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、「シンビジウムのコサージュ展示（7,585個）」の世界ギネス記録にも認定される。着物ガラス器ジュエリー、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、デザイナーとしての才能を発揮。また、ライフワークでもある花と建物のコラボ個展「歴史的建築物に挑む」シリーズを、海外はもちろん、世界遺産、国宝などでも開催。その他、アートパラ深川芸術祭の審査委員、少子化問題、伝統工芸品の振興促進、「花育」などの社会活動も取り組み、華道歴40周年を超え、ますます卓越した存在感を放ち続けている。

「假屋崎省吾 花教室」生徒募集中！  
お問い合わせ：03-6712-6873  
<http://www.kariyazaki.jp/>



いとうせいこう

Seiko Ito  
作家／クリエイター

1961年生まれ、東京都出身。1988年に小説「ノーライフキング」でデビュー。1999年、「ポタニカル・ライフ」で第15回講談社エッセイ賞受賞、「想像ラジオ」で第35回野間文芸新人賞受賞。近著に「鼻に挟み撃ち」「国境なき医師団」を見に行く」「小説禁止令に賛同する」「今夜、笑いの数を数えましょう」「ど忘れ書道」「ガザ、西岸地区、アンマン」「福島モノログ」「われらの牧野富太郎！」「今すぐ知りたい日本の電力」「ラジオご歓談！爆笑傑作選」「東北モノログ」「能十番」「見仏記 三十三年後の約束」「日日是植物」などがある。みうらじゅんとは共作『見仏記』で新たな仏像の鑑賞を発信し、武道館を超満員にするほどの大人気イベント『ザ・スライドショー』をプロデュースする。現在はnoteで「ラジオご歓談！」「見仏記」を配信中。音楽活動においては日本にヒップホップカルチャーを広く知らしめ、日本語ラップの先駆者の一人である。現在は、口口口（クチロロ）、いとうせいこう is the poet で活動。

Xアカウント  
<https://twitter.com/seikoito/>



杉本志乃

Shino Sugimoto  
アートコンサルタント

キュレーター・アートコンサルタント。ロンドンSotheby's Institute of Artにて装飾美術・現代美術を修了。吉井画廊、hiromi yoshiiを経て2009年(株)FOSTER設立。美術品の販売および企業・個人コレクションの利活用に関するコンサルティングを行う。2017年よりGYRE GALLERYでアウトサイダー・アート展を主催し、その価値を問い直す企画を展開。日本財団主催「障がい者芸術フォーラム」パネリスト等を務める。2018年より一般社団法人Arts and Creative Mind 代表理事。ACM Galleryを運営し障がいのあるアーティストを支援。2022年からは北海道十勝で「THE WORLD」プロジェクトを始動し、農業・福祉・アートを横断する実践を通して、多様性と共生社会の実現を目指している。



中津川浩章

Hiroaki Nakatsugawa  
美術家／アートディレクター

アーティストとして多くの絵画作品を制作、国内外で個展・ライブペインティングを続ける。創作活動に並行して、障害のある人や困難を抱える人たちが描き表現することをサポート。人間が表現することの意味と価値を問いかけ、「アート」の意味を問い直し、境界を越えて社会とアートをつなぐ道をさがす。障害のあるなしにかかわらず子どもから大人まであらゆる人を対象にアートワークショップをファシリテート。展覧会企画・プロデュース、キュレーションのほか、公募展選考、アートスタジオ運営、人材育成などのプロジェクトに携わる。

NPO法人エイブルアート・ジャパン理事。一般社団法人Get in touch 理事。社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル理事。表現活動研究所ラスコー代表。

## お問い合わせ

〔お問合せ〕 ご不明な点はメールにてお問い合わせください

Email : [competition@artpara-fukagawa.tokyo](mailto:competition@artpara-fukagawa.tokyo)

〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内 アートパラ深川大賞2026

TEL : 03-4400-9298

〔アートパラ深川おしゃべりな芸術祭ウェブサイト〕

<http://www.artpara-fukagawa.tokyo>

応募要項はウェブサイトからダウンロードできます

[ 主催 ]

ARTPARA  
FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会  
〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内 アートパラ深川事務局  
TEL: 03-4400-9298  
Email: competition@artpara-fukagawa.tokyo

一般社団法人アートパラ深川  
〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内  
<https://www.artpara-fukagawa.tokyo/>